

いしよし 清孝 石橋きよたか 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

東金市特集

県議会の中堅として議会内で発言力を増す東金市選出の石橋清孝(いしよし・きよたか)県議は、9月定例県議会の一般質問に登壇し、東金市など地域の抱える政策課題を取り上げ、森田知事ら県執行部にしっかりと伝えました。このうち、圏央道から成田空港へ直接乗り入れる道路の必要性について、石橋県議はかねてから問題提起しており、森田知事は「空港の機能強化の動きを踏まえ、規格の高い道路の検討を進める」と答弁しました。

また、石橋県議が従来から提案してきた森林整備を促進するための(仮称)森林環境税の導入については、国の税制改正の議論と並行して、県独自の道を検討するよう強く要望しました。その他の石橋県議の主な質疑を特集しました。



壇上で地域の懸案を取り上げる石橋県議

9月県議会一般質問に登壇

圏央道から空港への乗入れ道路

県、高規格道路を検討

石橋議員 私は、質問のたびに圏央道から一般道を通らずに直接成田空港に乗り入れることのできる道路建設の必要性を述べてきました。県当局も理解していると認識しています。

圏央道から一般道に接続するインターチェンジは2カ所計画されていますが、いまだ直接乗り入れるルートは示されていません。第3滑走路を含む約千ヘクタールの空港建設計画と隣接する圏央道の関係から、空港拡張計画の中に圏央道から直接乗り入れることが可能

な道路計画を一体的に作成することが必要です。そこで伺います。県は、圏央道と成田空港を直接結ぶ道路計画を策定すべきと考えますかどうか

森田知事 県内外と成田空港のスムーズな人物の流れを強化するためには、圏央道の大栄横芝間の一日も早い開通を図るとともに、圏央道と空港とのアクセス向上が必要だと考えています。

このため、県では空港の機能強化の動向を踏まえ、

圏央道と空港を結ぶ規格の高い道路について、成田国際空港株式会社と連携しながら、検討を進めてまいります。

要望 圏央道と成田空港関連では、規格の高い道路について、成田空港株式会社と連携しながら取り進むということですが、計画が進むということですから、早めに成田空港会社に案を示しながら進めて行っていただきたいと思えます。

東千葉MC

存続へ支援を要請

石橋議員 県立東金病院の機能を引き継ぎ、救命救急センターの機能を持つ東千葉メディカルセンター(MC)は、山武郡市以外への救急車の搬送率が、オープン前の41%から27%へと大きく減少し、救える命を救っています。

しかし、一般の外来患者数が少なく、経営を圧迫している状況もあります。救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院という病院の理念からも、致し方ないところもありますが、設立団体である東金市と九十九里町は、当初計画され

ていた以上の財政的な支出は困難な状態にあり、両議会でもかなり厳しい議論が展開されているところです。東千葉メディカルセンターや設立団体の努力だけでは対応できないので、東千葉メディカルセンターを存続させるために、千葉県はできることをしていただきたい。そこで伺います。東千葉メディカルセンターに対する県の支援を今後どのように行っていくのか。

森田知事 県では、東千葉メディカルセンターが自立して運営できるように、これまで看護師の派遣による人

的支援のほか、施設設備や救急医療のための設備整備等に対する財政支援を行っています。

一方、同センターは、地域において救命救急センターなどの役割を担っていますが、看護師の確保や病棟のオープンが遅れるなどしていることから、本年7月に中期目標が変更され、現在、この目標を具体化するため、中期計画の見直しが進められています。

県としては、設立団体や同センターが責任を持って運営を行うものと考えていますが、同センターが地域で求められる役割を果たせるよう、どのような支援ができるのか、関係者の方々と協議してまいります。

●県政と東金市に関するご相談・ご要望をお聞かせください。

石橋きよたか 県事務所

〒283-0005 東金市田間1-12-12
TEL.0475(52)1588 FAX.0475(52)1598

森林環境税導入を問題提起!



自席から再質問する石橋県議

森林呼吸源対策

石橋議員 地球温暖化による影響は、ゲリラ豪雨による河川の氾濫、浸水被害、土砂崩れの発生など、今後も異常気象による災害の発生が懸念されます。そこで伺います。県地球温暖化対策実行計画において、県は森林呼吸源対策にどのように取り組むか、どのように県民に幅広く周知啓発していくのか。

農林水産部長 本県は、私有林の比率が高い小規模な森林が多く、木材の利用促進を図る必要があります。このため、計画的な間伐、作業道の整備、高性能林業機械の導入を支援するとともに、公共建築物等への県産木材の利用促進を図っています。

県産木材の利用促進

石橋議員 本県の林業の現状をどのように千葉県農林水産業振興計画に反映させていくのか。

農林水産部長 本県は、私有林の比率が高い小規模な森林が多く、木材の利用促進を図る必要があります。このため、計画的な間伐、作業道の整備、高性能林業機械の導入を支援するとともに、公共建築物等への県産木材の利用促進を図っています。

サンブスギの溝腐病

石橋議員 サンブスギの溝腐病の被害状況及び対策はどのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 サンブスギ林の面積は、北総地域を中心に7735ヘクタールですが、このうち4181ヘクタールが溝腐病の被害を受けていることを確認しています。

県独自の道を要望

石橋議員 森林整備を促進するための県独自の(仮称)森林環境税に対する県の認識はどうか。

農林水産部長 国では、昨年12月に決定された平成28年度税制改正大綱において、森林呼吸源対策及び地方の地球温暖化防止対策のため、森林整備の財源として(仮称)森林環境税の検討を盛り込んでいます。

県営支線の整備要望

石橋議員 県は、両総用水事業をどのように認識しているのか。

農林水産部長 両総用水の受益地は、1万7千ヘクタールの水田を有する本

両総用水

パイプライン化は重要

県屈指の穀倉地帯であり、国営幹線水路や県営支線水路は、地域の農業を支える必要不可欠な施設です。

県営支線は、用水管理に多くの労力を要する古い形式の開水路となっており、老朽化も著しいことから、農業経営の合理化の妨げになっています。

また、担い手の減少や高齢化など、農業を取り巻く環境が厳しさを増している中、用水管理の省力化や維持管理費の低減など、コメの生産コストを削減するためには、両総用水の県営支線のパイプライン化は、極めて重要だと認識しています。

石橋議員 県営支線の整備にどのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 関係市町村や土地改良区と連携し、地域が一体となって、将来の営農構想や、これを實現するための整備計画を策定する必要があります。県としては、農業情勢の変化にも適切に対応し、さらなる発展が遂げられるよう、パイプライン化に積極的に取り組んでまいります。

県営支線のパイプライン化を前提

に、集落営農や農地の集約を進めたいとのことでしたので、できる限り早く県営支線の整備を行ってほしい。県と両総土地改良区、関連市町村や国と十分に連携を進め、確実に整備していただきたい。

公立学校の耐震化

石橋議員 県内の公立小中学校における校舎等の耐震化及び吊り天井の落下防止対策の状況はどうか。

内藤教育長 平成28年4月1日現在、県内の小中学校の耐震化は、45市町村1組合で完了しており、学校統合や入札不調などの事情で耐震化が完了していない9市29校についても、平成31年度までに対策が完了する予定です。

吊り天井の落下防止対策が必要な体育館等は、27市町で113棟となっており、これは昨年度から118棟減少しています。残る113棟のうち、19市町91

棟は、平成32年度までに対策が完了する予定ですが、8市町22棟は、実施計画を検討するなどしており、完了時期は未定です。

石橋議員 県では、耐震化や落下防止対策等の取り組みについて、市町村とどのように連携していくのか。

内藤教育長 公立学校施設の耐震化等は、喫緊の課題だと認識しています。県教委としては、引き続き市町村に対し、あらゆる機会を捉えて、学校施設の耐震化及び吊り天井の落下防止対策に迅速に取り組むよう働きかけてまいります。